

いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会いなみ野病院
 住所 加古川市平岡町土山423-2
 TEL 078-941-1730
 FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
 メールアドレス inamino@senreikai.org

「当院の新たな役割について」

いなみ野病院 院長 嘉悦 博



平成最後の年を迎え、いなみ野病院の職員一同は、元号が未定のこの1年を非常に重要な年と考えています。

平成30年4月から、新しく介護医療院の制度が発足し、当院も本年中に170床は介護医療院として運営していく予定です。現在、それに向けて改築工事を行っており、夏ごろには従来の医療療養型120床と介護医療院170床の計290床となる計画です。

介護医療院は、「医療機能」「介護機能」「生活施設」を兼ね備えた介護施設と規定されました。すなわち、介護保険を利用する施設ですが、医療法上の医療提供もでき、長期療養が可能な生活施設となります。したがって、従来の介護療養病棟の機能に加え、終末期の看取り対応、在宅や施設入所者の一時的入所も可能ななどの、多様な役割を持っています。また、回復期病棟、地域包括ケア病棟から

の入所は在宅扱いとなります。

これにより、いなみ野病院が属する医療法人仙齡会にとっても、急性期病院から療養型病院、在宅該当施設までも幅広い組織となり、東播磨地域の住民の皆様にも医療、福祉の両面でより貢献できる事を目指します。

しかし、実際の介護医療院の運営はこれからの事で、昨今は、保険制度、人員確保などの面で医療、介護の情勢は厳しいものがあり、円滑な運営は容易ではないと認識しています。この目的が達成できるように職員一同は一層努力いたします。

また、運営内容、連携方法などについて、さまざまな立場の皆様から御意見を頂ければ幸いです。本年も、従来と変わらぬご指導の程宜しくお願い申し上げます。

特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

平成30年度 クリスマス会 プログラム ～午前の部～	
1. はじめの言葉	嘉悦院長
2. 演奏会	そえんじ様
3. 風船 そりすべり	レクリエーション委員会
4. 星に願いを サンタが街にやってくる	リハビリテーション課
5. 終わりの言葉	山根師長

平成30年 クリスマス会



平成30年12月7日にクリスマス会を実施しました。午前と午後の2部構成で行いました。患者様62名、ご家族様21名と多くのご参加をいただきありがとうございました。午前・午後の部ともに嘉悦院長のはじめの言葉で幕を開けました。



午前の部は、ボランティアのそえんじ様、本館3階・南館1階の患者様と職員による出し物でした。そえんじ様の演奏会では素晴らしい歌声やギターの色合いに患者様、ご家族様、職員ともども魅了されました。

レクリエーション担当者からの出し物として、そりすべりの曲に合わせて大きな風船を患者様に運んでいただきました。風船が目の前に来ると自ら手を出され、職員に返していました。色とりどりの大きな風船が会場内に舞い、華やかな雰囲気となりました。



リハビリテーション課は星に願いを、サンタが街にやってくる、2曲を披露され会場は一気にクリスマスムードとなり盛り上がりを見せました。

午後の部は、ボランティアのそえんじ様、ふ～みん様、本館1階・本館2階・南館2階の患者様と職員の出し物でした。そえんじ様の歌声とギターにふ～みん様のピアノの音色が混ざり、美しいハーモニーとなりました。患者様と一緒に手をたたき曲もあり、大いに盛り上がりました。レクリエーション担当者、リハビリテーション課の出し物は午前と同様、大いに盛り上がりました。

平成30年度 クリスマス会 プログラム 一午後の部	
1. はじめの言葉	嘉悦院長
2. 演奏会	そえんじ様
3. 風船 そりすべり	レクリエーション委員会
4. 星に願いを サンタが街にやってくる	リハビリテーション課
5. おわりの言葉	北村師長



クリスマス会が今年の院内行事の締めくくりとなりましたが、楽しい時間となりました。多くの方のご参加、アンケートへのご協力ありがとうございました。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。



いなみ野病院レクリエーション担当

2分間スピーチ

7月

本館2階 石倉 重子

おはようございます。

7月2日月曜日です。皆さん、今日7月2日が1年の真ん中の日に当たる事はご存知でしょうか？本館のエレベーターが新しくなり液晶画面を目にしていることは思いですが、今日は何の日か少し調べてみました。

今日7月2日は1年の真ん中の日に当たる事から「半分」「シエア」「折り返し」「真ん中」などをキーワードに、みんな笑顔で祝いすることを目的とし、制定されたそうです。

そして、7月13日は第1回サッカーワールドカップ開幕の日です。1930年（昭和5年）のこの日ウルグアイで第1回サッカー

ワールドカップが開幕しました。

今年の大会は21回目にあたります。

初戦のコロンビア戦で日本人サポーターが試合後にゴミ拾いを行っていたことが、ニュースで報じられています。こうしたことはいまが初めてではなく1998年のフランス大会から行われているそうです。

前回のブラジル大会でも注目されたゴミ拾いは、誰かが呼びかけるでもなく、自然発生した行動で今年の大会でも各国のサポーターに「ゴミ拾いの輪」が広がっています。

日本は世界のマナーが良い国1位ですが、それは教育の道徳でもいやりや掃除当番で協調性など、子供のころから礼儀を学んでいるからと言われています。

8月

本館3階 西本 亜希

私は、あるアプリゲームに今はまっています。

そのアプリゲームで最近イベントがあり、数量限定のチケットが無いと参加できない為チケットを手に入れるのに、大人が子供よりも必死になっている姿がツイッターなどで情報としてアップされることがありました。その中の1つでマクドナルドで1つ700円のセットを購入すると参加券がもらえるのですが1人、1台の携帯画面を見せて2セットまで購入できるとなっていました。

ある男性が携帯を1人で何十台と持つてきて「お金は払います。ハンバーガーはいらないからチケットだ

何事に対しても礼儀が大切だなあと思い、私も「サムライ・ブルー」のサポーターのように良いマナーを見習い行動できたらと思います。

9月

南館2階 村上 しのぶ

先日、研修先で聞いた話をさせて頂きます。

コミュニケーションをとる上で大切な事は、相手の話を目を見て聞き確認すること。

電話など相手の顔が見えない場面では、相手を思いやる気持ちをもって対話する。

まだ話をしている途中で切らない！当たり前前のが出来ていない人もいます。

日本人は相手を傷つけないよう「良かれ」と思って話したり、「何度も言ったら失礼」との気持ちから「分かっているだろう」「伝わったはず」と思い込みの「察する」という文化があるそうです。

しかし、実際に医療現場では真意が伝わっていない事も多く正確に伝える事が欠かせません。トラブルを防ぐために「事実をシンプル、丁寧に」伝える事が大

10月

南館2階 中村 安美

切だと話されてきました。コミュニケーションもそうですが、人と接する機会が多い仕事をする上で自分を磨くために気をつけることとして、こんな話もされていきました。

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。

性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。
思考が変われば運命も変わるそうです。
日々の生活を客観的に見直し、現場で使いたいと思えます。
ご清聴ありがとうございます。

おはようございます。南館2階の中村です。

私は数年前に接遇について以前の上司から言葉使いや身だしなみについて聞いた事があり、自分自身気をつけるようにしていましたが、今回接遇の事についてもう一度調べた時に「医療接遇」という言葉を知りました。医療接遇とは、患者様が何を伝えたいかといった考えや気持ちをくみ取り患者様に寄り添って応えるために行動をすることをいいます。

私達は患者様、家族、スタッフや他部署のスタッフと仕事をする時に接遇で気をつけていかないといいいか。1つ目は挨拶。挨拶は患者様や家族との間に意識を統一をさせるための方法として絶対的に必要なものです。「挨拶に始まり、挨拶に終わる」と言ってもいいぐらいだそうです。2つ目は聞く姿勢。患者

様からの発言は同じ視点に立ち、目を見ながら相手の話をゆっくり聞き姿勢が重要です。

3つ目は身だしなみ。第一印象で身だしなみが悪いとその人の価値が低下することがあります。それだけ身だしなみは相手にとって好感触、悪い印象力の判断材料となります。私達はまず清潔感というのは大事なポイントで服は汚れていないか、髪や爪は清潔か、メイクは派手すぎないかなど自分自身でしっかり確認し、患者様やご家族の方に不快感を与えないように気をつけなければなりません。

私達にとつての接遇とは、患者様や家族の方に安心感を与え、信頼を得るための方法です。挨拶や言葉使い、身だしなみはもちろん相手の状況や気持ちを理解して寄り添う姿勢が重要です。一度自分がやっている接遇について振り返ってみることも必要で、どこかに患者様に負担をかけているような接遇を行っている

かもしれません。最後に、お恥ずかしい話ですが医療接遇という言葉やだんだん社会情勢が変わっていくなかで知識不足である私はずっと社会を知り勉強していかなければならないと思えました。

ご清聴ありがとうございます。ありがとうございました。



11月

地域連携課 大西 広晃

私は以前に祖母から門掃き(かどはき)という文化について教えてもらったことがあります。

門掃きとは京都特有の文化で、自分の家の前を綺麗に掃き、水撒きをすることを言い、その範囲については、親切でお隣まで行うにしても、自宅前からほんの

少しお隣側へ踏み込んだ辺りまでに留めておくという暗黙のルールがあります。何故そのような範囲についてのルールがあるのか。それは隣の家の前までを他人がしっかりと勝手に掃くというのは、親切ではなく隣の方に恥をかかせる行為とされているからです。とは言えその範囲は明確に数字で表せるものではなく、結局のところは隣人の性格や隣人との関係性様々な要素で微妙に変わってくるそうです。

様々な要素から相手进行いやりつつ、相手との適切な距離を保つ。これは病院のソーシャルワーカーとして院内各部署や他機関の方々、患者様やご家族様と関わる中で非常に大切なことだと思います。何とか相手の力になりたいという自分の思いだけが先行してしまい、相手の立場に立って考えることに盲目とならないうよう、今後も祖母から教わった「門掃きの精神」で業務に取り組んでいきたいと思えます。

いなみ野学園 絵画サークル作品展

当院本館・南館をつなぐ渡り廊下(1階)にて、いなみ野学園絵画サークルの絵画作品、油彩画・水彩画計29点を展示しております。会員の方の力作で、患者様、来院の皆様が楽しみに鑑賞されています。



桃の節句を迎えひな人形をロビーに飾りました。

これからも入院生活の中で季節感を感じていただけるような取り組みを行っていきます。



● ● ● 編集後記 ● ● ●

平成最後の年を迎えました。「平成」の元号には「天地、内外ともに平和が達成される」という意味合いが込められています。

まもなく訪れる新しい時代がさらに平穏な時代になることを願いつつ、私達は元号の意味や由来を汲み取って大切に過ごしていきたいものです。

いなみ野病院 概要

診療科目 内科、リハビリテーション科
病床種別 療養病床 290床

(医療保険 2病棟 120床)
(介護保険 3病棟 170床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

療養病棟入院基本料1
療養病棟療養環境加算1
夜間看護加算
認知症ケア加算2
病棟薬剤業務実施加算1
地域連携診療計画退院時指導(Ⅱ)
脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)
運動器リハビリテーション(Ⅰ)
入院時食事療養(Ⅰ)／生活療養
薬剤管理指導料
入退院支援加算2

介護保険

病院療養型 I型(療養機能強化型A)
夜間勤務条件基準 減算型
職員の欠員による減算の状況 なし
ユニットケア体制 対応不可
療養環境基準 基準型(2病棟)・減算型(1病棟)
医師の配置基準 基準
栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制
身体拘束廃止取組の有無 あり
特定診療費項目 薬剤管理指導
リハビリテーション提供体制
理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他